

建設土対策委員会関係報告

平成 30 年度の建設土対策委員会は 1 回開催され、公共工事から発生する「建設発生土広域利用事業」及び広域利用等の公共建設発生土を除く建設発生土を積出する「城南島建設発生土事業」を実施した。

委員会の内容は、以下のとおりである。

1. 委員会の開催

(1) 第 1 回委員会 平成 30 年 4 月 25 日 (水)

議題 1. 平成 29 年度 取扱実績報告について

(1) 平成 29 年度 建設発生土広域利用積出作業報告書

(2) 平成 29 年度 城南島建設発生土処理実績報告書

2. 平成 29 年度 建設土対策委員会関係報告(案)について

3. 平成 30 年度 建設発生土事業について

2. 建設発生土広域利用事業

東京都内から発生した公共工事の建設発生土を東京港埠頭株式会社が土質審査後に受入れ、株式会社建設資源広域利用センターが船舶海上輸送し各地方港湾の埋立用材として活用するもので、東京都における都市問題と地方圏における環境問題を解決する事業としている。

本年度、中央防波堤内側地区にある積出基地において 130,805.00 m³が積出され、地方港湾（三河港）に運搬した。

(1) 実作業期間 平成 30 年 4 月 23 日 ～ 平成 31 年 2 月 22 日

(2) 年間積出土量 130,805.00 m³

(3) 仕向地 三河港

参考：過去 5 ケ年実績(m³)

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年 度	平成 30 年 度
年間積出土量	74,463	63,097	145,508	229,178	130,805

3. 城南島建設発生土事業

東京港の城南島積出基地から、広域利用等の公共建設発生土を除く建設発生土の積出しを行うため、港運業者 10 社出資による「東京港運ジェイ・ブイ株式会社」に統括管理及び運営を委託している。本年度は城南島建設発生土積出ふ頭より、476,639.90 m³を積出した。

当協会の業務は、同施設における港湾施設用地及び水域占用使用に関し、東京都との調整及び承認申請手続を行うほか、年間を通し施設利用のために“建設発生土搬入券”を発行している。

- (1) 作業期間 平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
- (2) 年間積出土量 476,639. 90 m³
- (3) 搬入車両台数 86,661. 80 台 (10 トン車換算)
- (4) 搬入券発行枚数 101,100. 00 枚

参考：過去 5 ケ年実績(m³)

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年 度	平成 30 年 度
年間積出土量	1,058,985	779,504	623,150	742,858	476,639